

**一般社団法人 日本医学物理学会**  
**平成 24 (2012) 年度 第 7 回理事会議事録 (抄)**

日時:平成 25(2013)年 3 月 2 日(土)12:00-17:15

場所:首都大学東京 秋葉原サテライトキャンパス

出席者:遠藤・松本・新保・櫻井・荒木・小口・齋藤・榮・西尾・福田・門前(理事)、金井(監事)

欠席者:奥村(理事)、福村(監事)

参会者:和田・蓑原・赤羽・尾川(委員長)、豊福・福士(大会長)、鬼塚(JBMP)、乳井(総務委員)

議題:

1. 前回議事録の確認
2. 新入会員・退会者の承認(決議)
3. 平成 25 年度事業計画案の承認(決議)
4. 会費値上げについて(決議)
5. 平成 25 年度予算案の承認(決議)
6. 選挙関係細則の改訂について(決議)
7. 第 105、106、107 回 大会の準備状況について
8. ホームページリニューアルの進捗状況
9. 「医学物理」発刊の状況
10. RPT 誌編集委員の扱いについて
11. 研究倫理について
12. 事務局所在地の変更について(決議)
13. 委員会報告
14. 医学物理士認定機構の現状について
15. 名誉会員の推薦について(決議)
16. その他

資料:議案書冊子(下記の事由により資料 13-3 を 13-4 に改訂)

席上配布:資料 13-3(国際交流委資料 4 頁)、

参考資料:新潟大学セミナー リーフレット

## 議事

出席者・参会者、定足数確認の後、会長が議長となり開会を宣言し議事に入った。

### 1. 前回(第6回)の議事録(案)の確認

資料1に基づき前回理事会(11月17日)の議事録案を通読・確認し、原案通り承認した。

### 2. 新入会員・退会者の承認

資料2に基づき、庶務理事より11月1日～2月28日の入退会・資格変更・会費未納による退会処分等が報告された。審議の結果、退会処分は満三ヶ年度分未納の会員を対象とすること、それ以外は原案通りで承認した。これにより2012年度末時点の会員総数は2,001名となった。

引き続き3月1日時点での入退会・資格変更等が報告された。審議の結果原案通り承認した。これにより3月1日時点の会員総数は2,015名となった。

### 3. 平成25年度事業計画案の承認

資料3に基づき、庶務理事より提案がなされた。審議の結果、原案通り承認した。

研究課題援助については、2013年度のみ3件で行い、以降は毎年1件ずつ募集して、募集なしの年度がないように運用することを確認した。

なお会長より、本件の重要性に鑑み、定款に定める総会決議事項ではないが総会に上程する提案があり、審議の結果これを承認した。

### 4. 会費値上げについて

資料4に基づき、会長より会費の上方改訂(2013年度より適用)と研究成果報告奨励金特別会計の創設の提案がなされた。

会費改訂については、資料ならびに前回議事を踏まえて審議の結果、原案通り、正会員の年額を8,000円から10,000円に、学生会員の年額を4,000円から5,000円とすることを承認した。

なお本件は「入会金及び会費に関する細則」の規定改訂を伴う。理事会においては、同細則第3条を、原案通り上記のように改定し、加えて賛助会員の年額(単位)8,000円を10,000円とすることを承認したが、金額改正は総会の決議を必要とするため、総会に上程することを確認した。

なお会費収納の手段として、手数料納付者負担のコンビニ払の方途を事務局に調査させることとした。

研究成果報告奨励金特別会計の創設についても、資料と前回議事を踏まえて審議の結果、原案通り承認した。

### 5. 平成25年度予算案の承認

資料5ならびに議題4の結論に基づき、会長より2013年度の事業計画に即した一般会計ならびに新設の研究成果報告奨励金特別会計予算につき、ケースIとケースIIの2種が提案された。審議の結果ケースIIを採用し、これを原提案のままに承認した。

なお本件も事業計画案と同様の理由で総会に上程する提案が会長よりなされ、これを承認した。

## 6. 選挙関係細則の改訂について

資料 6 に基づき、代議員ならびに理事・監事の選挙に関する細則改訂等が会長より提案された。審議の結果、代議員選挙細則(第 3 条、第 6 条)、理事・監事選挙細則(第 3 条、第 5 条、第 6 条、第 11 条)、委員会に関する細則(第 2 条、第 3 条)の改定(前記各カッコ内が改定箇所)を原案通り承認し、これに基づき示された 2013 年度施行のスケジュールを以降の標準とすることを可とした。

## 7. 第 105、106、107 回 大会の準備状況について

### <105 回大会>

資料 7-1 に基づき、同大会長より準備状況が報告された。

### <106 回大会>

資料 7-2 に基づき、同大会長より準備状況が報告された。

### <107 回大会>

同大会長より、ポスターの紹介が投影によりなされた。

また会期中(物理士会総会后)に医学物理士の 25 周年記念行事等を開催する予定であることが報告された。

### <108 回大会>

順当に行けば日韓大会なので、その準備にかかるべきことが会長より指摘された。

### <109 回大会>

次回理事会で決定する予定を確認した。

## 8. ホームページリニューアルの進捗状況

広報委員長の指示により、事務局が現況を投影し、進捗の報告がなされた。誤字修正の指摘はあったが構造・構成の変更はなく、このまま進め、オープンが 4 月になることが報告された。

バナー広告のポリシーについては、継続して検討することとした。

## 9. 「医学物理」発刊の状況

資料 13-2 に基づき、編集委員長より刊行のペースと時期を平常に戻す努力を継続していることが報告された。

また JST の平成 25 年度事業として採用された本誌の J-STAGE への搭載時期の基準の策定が求められ、審議の結果刊行半年後を基準とすることとした。Supplement については、刊行直後にホームページのマイページで公開することとした。(ただし、大会報文集は除く)

さらに、別刷の PDF 化について、編集委員会で検討の上理事会に諮ることとした。

## 10. RPT 誌編集委員の扱いについて

資料 10 に基づき、PRT 編集委員会は学会編集委員会の分科会として位置付けること等を確認した。

## 11. 研究倫理について

会長より口頭で、昨今の状況から規程制定の必要性が指摘され、そのためワーキング・グループを設置する提案があった。会長がその長に副会長を挙げたところ、承認した。さらに本件はあまり時間をかけずに成案を

得るべき方針が示された。

## 12. 主たる事務所移転に関する件

資料 12 に基づき、庶務理事より提案がなされた。審議の結果、平成 25 年 3 月 2 日を以て、主たる事務所を東京都新宿区山吹町 358 番地 5 に移転することを承認した。

## 13. 委員会報告

### <用語委員会>

委員長より口頭で報告がなされた。JOMP の EMITEL で使用している各国の辞書の一部を JSMP の用語集に取り込む作業を行っている。昨年の 9 月頃から 4000 語のうち 1000 語のチェックを行い 1 月下旬の会議でこれに関して議論を行った。

### <計測委員会>

委員長より口頭で報告がなされた。「標準計測法 12」について版を重ねることとした。後ほど集約して JSMP のホームページに正誤表を載せる予定である。

### <防護委員会>

委員長より口頭で、今回特段の報告事項はないこと、4 月に委員会開催予定であることが報告された。

### <国際交流委員会>

資料 13-3 に基づき、委員長より現況が報告された。また ICMP2013 における功労者のノミネーションにつき、3 名の候補を挙げたことが会長より披露された。

### <編集委員会>

資料 13-2(続)に基づき、編集担当理事より RPT 誌編集委員会の活動について、平成 26(2014)年度からは年間 3 号の刊行を目指していることが報告された。

### <QA/QC 委員会>

資料 13-1 に基づき、委員長より現況が報告された。

### <教育委員会>

委員長より報告がなされた。

教育委員会の事業の中で、レジデントコースについて検討を行っている。これに関しては、会長より学会としての立ち位置について十分に検討すべきとの指摘があった。

## 14. 医学物理士認定機構の現状について

資料 14 に基づき、JBMP 庶務理事より報告がなされた。

## 15. 名誉会員の推薦について

資料 15 に基づき、会長より名誉会員推戴に関する提案がなされ、満場異議なくこれを承認した。

## 16. その他

資料 16-1 に基づき、JARR の JSMP 担当理事より提供された ACRR2013 ならびに ICRR2015 の情報が披露された。

資料 16-2 に基づき、庶務理事より当学会に寄せられた他団体の行事の後援・共催 3 件が諮られた。審議の結果いずれも承認した。

資料 16-3 に基づき、学会刊行物の保存に関するガイドラインが、会長より提案された。審議の結果、原案通り承認した。

資料 16-4 庶務理事より学会の研究課題援助の申請書と報告書(および継続申請書)の様式が提案され、これを承認し即時施行とした。

資料 16-5 として、庶務理事より平成 24(2012)年度事業報告案が提示された。内容については次回検討することとし、その間に検討を加えることとした。

資料 16-6 として現況の決算案が示された。次回確定版を以て審議することとし、その間に検討を加えることとした。

その他の発議を求めたところ、格別なしと認められたので、議長は 17:15 に閉会を宣言して散会した。